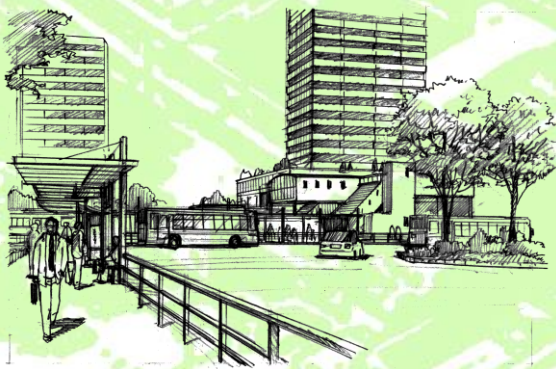


# 小川駅前周辺地区 まちづくりビジョン

地域の  
暮らしの  
中心となる



住みよい  
行きよい  
賑わい  
のあるまち 小川

平成26年(2014年)2月

小平市



## 1 小川駅前周辺地区の将来像

- 小川駅は地域に暮らす人たちの生活の中心であるとともに、企業や学校、福祉施設などへ通う人たちの活動の中心でもあります。この地域の人たちの「住みやすさ」や周辺施設への「行きやすさ」、さらに、駅を中心に往来する人の流れにより生み出される「まちの賑わい」を地域のテーマとして、地区の将来像とまちづくりの方針を以下に示します。

### 地区の将来像

地域の暮らしの中心となる

**住みよい 行きよい 賑わい** のあるまち 小川

安心して 心豊かに **暮らせる** まち

安全 快適 便利に **動ける** まち

小川の魅力と活気が感じられる **賑わう** まち

### まちづくりの方針

- 便利な駅近くで様々な活動ができる「高度に集約したまち」をつくります
- 地区の中心となる「小川駅前の再整備」を目指します
- 生活道路の通過交通を解消する「新たな幹線道路」の整備を早期に進めます
- まちで活動する人たちが「安全に東西を往来できる道路」を目指します
- 福祉のまちとして「誰もが安全に移動できる歩行空間づくり」を目指します
- 賑わいを周りの商店街につなげる「人の流れを生み出すみち」の整備に取り組みます

## 2 小川駅前周辺地区の課題

駅西口の狭い空間には、歩行者、自転車、自動車が入り混じり、またタクシーなどの駅前への進入が難しく、交通の結節点として駅前広場の整備が必要です。

狭い道路に沿って古い建物が多数見られるため、大きな災害があったときには、建物の延焼や倒壊などの不安が残ります。

東西をつなぐ二中通りや中宿通りは、通過交通の車も流れ込み、危険や不便を感じる道路となっています。

小川東町、小川西町を結ぶ通路は踏切以外では、駅利用の印象が強い自由通路を通るしかなくその通路も、東西の結びつきを積極的に担うものには成り得ていません。

生活道路の多くは幅員が狭く、歩行者、自転車、自動車の混在により危険を感じることがあり、安心して通行できる環境が求められています。

駅周辺は文教施設や福祉施設等が立地し、大勢の人が行き来する地区ながら、道路には幅員の狭い箇所や、通りづらい箇所があるため、配慮が必要です。

### 3 小川駅前周辺地区 まちづくりビジョンとは

#### ①まちづくりビジョンについて

- 小平市の北西部に位置する小川駅前周辺地区（右図）は、都市計画道路の計画などはあるものの、まちづくりがなかなか進まず、駅前広場が未整備であることや生活道路が狭いなど、様々な課題が存在しています。
- これらの課題を改善し、一層、魅力的なまちを形成していくため、市民参加により「まちづくりビジョン」を策定しました。
- このまちづくりビジョンは、市民、事業者、行政等が目標を共有し、各主体が行う具体的なまちづくりを相互に秩序と連携をもって進められるよう地域の構想として策定するものです。

#### ②まちづくりビジョンの位置づけ

- 小平市のまちづくりは、平成 18 年 3 月に策定された「小平市第三次長期総合計画—こだいら 21 世紀構想—」、平成 19 年 3 月に改定された「小平市都市計画マスタープラン」等に位置づけられています。
- このまちづくりビジョンは、「小平市都市計画マスタープラン」の地域別構想で示す小川駅周辺地区を補完するものです。（右図）

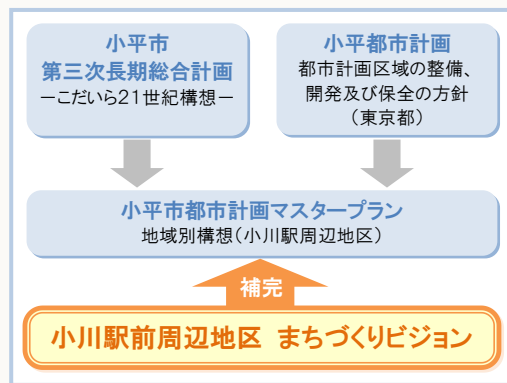
#### ③まちづくりビジョンの目標年次

- 次期「小平市都市計画マスタープラン」の目標年次までとします。（必要に応じて適宜見直しを行います。）  
※現行の小平市都市計画マスタープランの目標年次：  
平成 28 年度

#### ■小川駅前周辺地区対象範囲



#### ■まちづくりビジョンの位置づけ



駅周辺にはいくつかの商店街があるものの、通勤や通学の時間帯を除くと人通りも少なく、まちの賑わいが見られず、活気に乏しい状態です。

かつての賑わいの減少や、住宅地に相応しい自然環境の乏しさなど、「まちの個性」と呼べるものが見えにくい状況です。

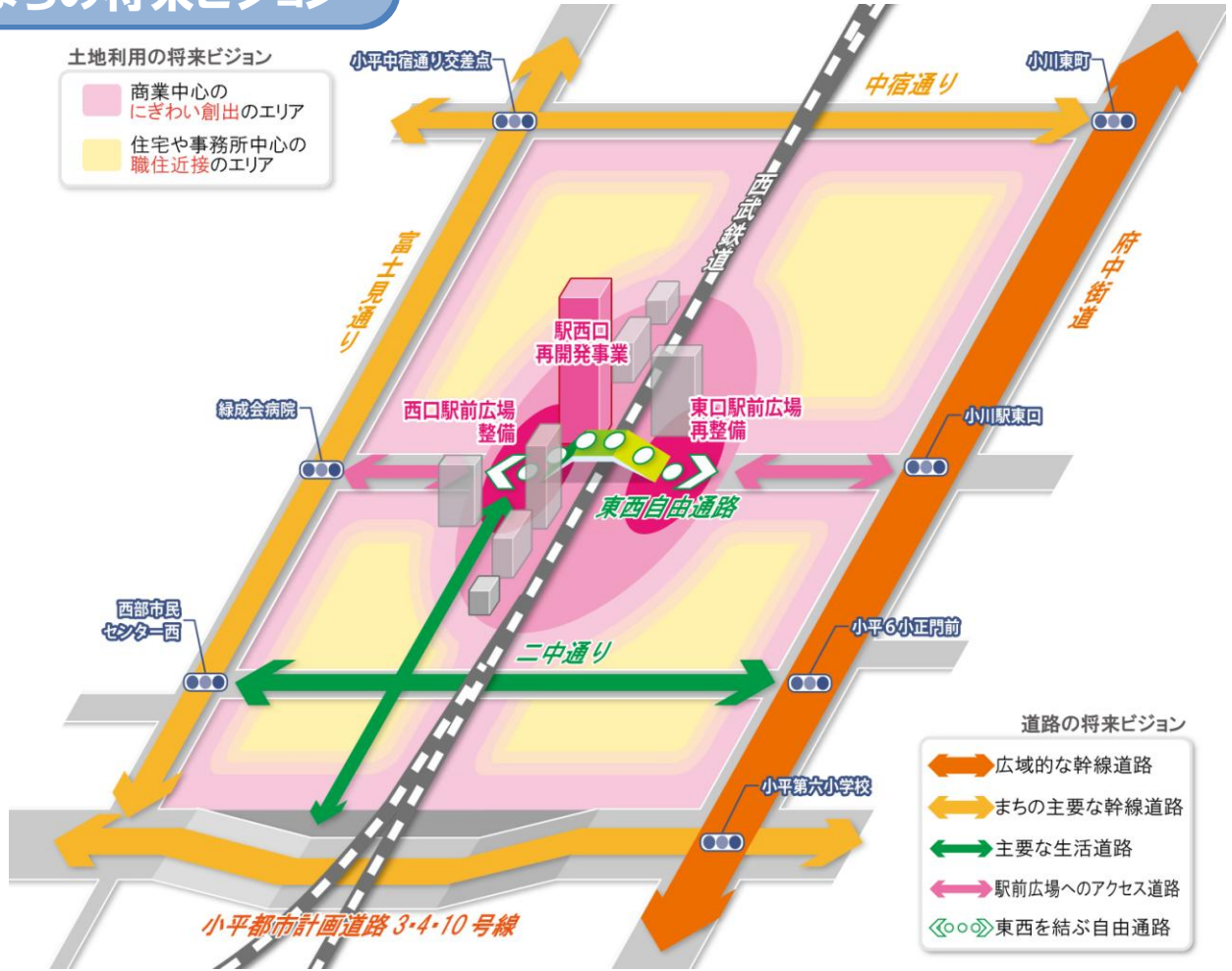


※課題については、住民からの「提案書」を参考にしています。

## 4 まちづくりの方針の実現

- ここでは、【小川駅前周辺地区の将来像】を踏まえ、【まちづくりの方針】の実現に向けた具体的な【取組方針】を定めています。

### まちの将来ビジョン



地区全体の  
まちづくり

### 便利な駅近くで様々な活動ができる「高度に集約したまち」をつくります

- 小川駅は、東京都心へのアクセスや周辺の都市への乗り継ぎなどに便利であり、再開発事業や周辺への波及などにより、新たな賑わいの拠点が形成され、多くの人々が暮らすコンパクトに集約した魅力あるまちとなります。また、再開発事業によって整備される超高層タワー型（100m級）の複合住宅施設を地区のシンボルとし、周辺の街並みと調和した新しい景観を形成します。

#### 【取組方針】

- 災害に強いまちを形成するため、延焼遮断帯の形成や周辺地域の不燃化の促進を進めていきます。
- 緑や空地などの公共的空間の創出を図るため、地区計画<sup>①</sup>の導入を検討していきます。
- 都市計画の見直しなどにより、駅前を中心に高度利用を図ります。



## 地区の中心となる「小川駅前の再整備」を目指します

- 小川駅は、小川のまちに住む人、学校や職場に通う人たちが集まる、新たな賑わい拠点として、また、誰もが円滑に公共交通機関に乗り継げる「交通結節点」として形成され、将来的には「まちの新たな玄関口」となります。

### 【取組方針】

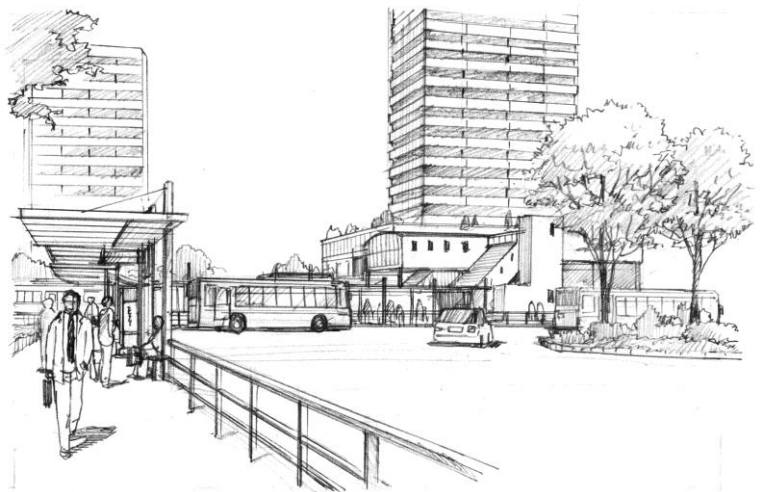
- 駅東口は、駅西口の状況を見ながら、面的整備手法<sup>②</sup>も視野に入れ、より使いやすい駅前空間の整備に向けた検討をしていきます。

- 駅東西に暮らす人や活動する人たちが、駅の東西を気軽に歩いて往来できるルートとして、東西の交流がさらに促進できるよう、東西自由通路を駅西口と東口の整備とともに検討していきます。

- 駅西口は、地権者を中心とした組合<sup>③</sup>による市街地再開発事業が進められ、商業施設や公共公益施設などが入った、超高層タワー型の複合住宅施設が、駅前広場や道路などとともに検討されています。駅前広場や道路は、市の重要な施設となることから、組合<sup>③</sup>と連携し、事業の推進を図ります。

- 再開発の複合住宅施設については、整備により創出されるオープンスペースとともに、災害時の避難スペースや、防災備蓄のエリアとして重要な場所となることから、検討にあたっては、組合<sup>③</sup>と連携し、取り組んでいきます。

#### ■ 駅東口のイメージ



#### ■ 駅西口のイメージ



#### ※用語解説

- ①地区計画・・・道路、公園などの施設の配置や建築物などに関するルール（壁面の位置の制限、敷地面積の最低限度など）を都市計画として定め、その地区の特性にふさわしい良好なまちをつくるための計画のこと。
- ②面的整備手法・・・土地区画整理事業、市街地再開発事業、地区計画などの事業手法のこと。
- ③組合・・・小川駅西口地区市街地再開発準備組合（東京都知事による組合設立認可後は法人格をもった組合をいう。）

## 生活道路の通過交通を解消する「新たな幹線道路」の整備を早期に進めます

- 小平都市計画道路3・4・10号線の整備により、二中通りや中宿通りへの通過交通を減少させることができます。また、踏切などの渋滞が解消され、東西の往来がより便利になるとともに、緊急車両等平時の対応や防災機能が向上し、安全・安心な災害に強いまちになります。

### 【取組方針】

- 小平都市計画道路3・4・10号線(府中街道から富士見通り部分)整備の早期実現を目指し、鉄道との立体交差の構造や、歩行者等、自動車が安全に通行できる道路構造や道路幅員の検討を早期に進めていきます。

#### ■ 3・4・10号線整備後のイメージ



※写真は、新小金井街道小平グリーンロード立体

## まちで活動する人たちが「安全に東西を往来できる道路」を目指します

- 地区内の東西道路である二中通りや中宿通りは、小学校や中学校への通学路として、また、沿道商店街の買物などの道路として、誰もが安全、快適に通行できる道路となります。

### 【取組方針】

- 小平都市計画道路3・4・10号線の整備、開通に合わせて、二中通りや中宿通りを、駅の東西を移動するために便利で安全なルートとして形成できるよう、バリアフリー化や交通規制による対応などを含め、ワークショップなどの活用を視野に入れながら検討していきます。

## 地区内の生活道路

### 福祉のまちとして「誰もが安全に移動できる歩行空間づくり」を目指します

- 小川駅前周辺的生活道路は、周辺の小・中学校の児童・生徒や福祉・介護施設の利用者など、誰もが安全に移動できる歩行空間となります。

#### 【取組方針】

- 狭あい道路、行き止まり道路の解消及び公共的空地の確保などを図るため、面的整備手法<sup>②</sup>の実施を検討していきます。
- 安全に移動できる歩行空間を確保するため、バリアフリー化や高効率照明の設置による暗がりの解消などの実施を推進します。

#### ■生活道路のイメージ



## 地区全体の賑わい

### 賑わいを周りの商店街につなげる「人の流れを生み出すみち」の整備に取り組みます

- 駅前広場の整備に伴い、駅前の賑わいを地区全体に広げ、活気あふれるまちを取り戻します。

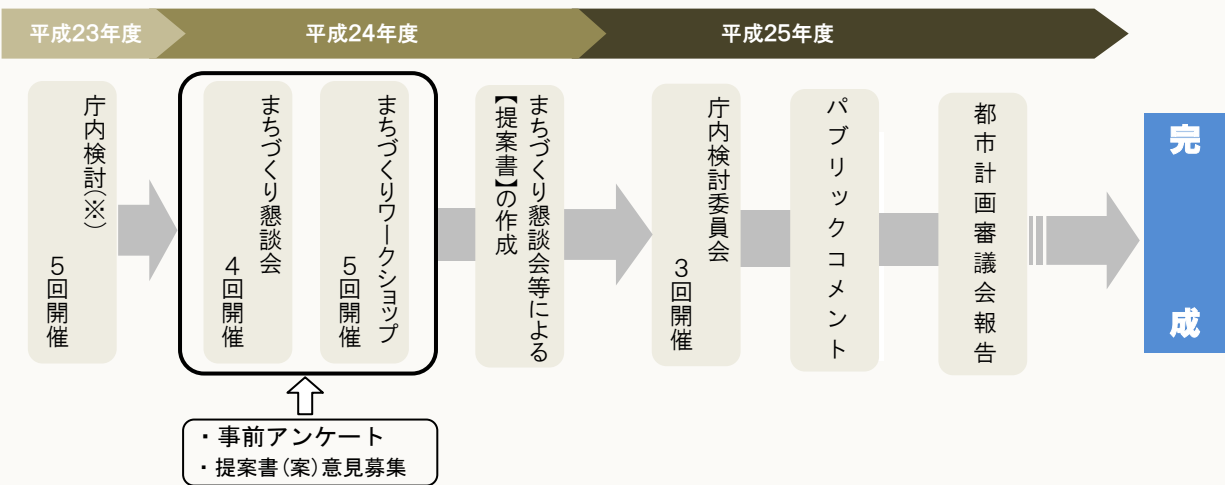
#### 【取組方針】

- 駅へのアクセス道路や中宿通り、富士見通りなど人通りの多い道路を中心に、歩行空間の確保やベンチ、花壇などのストリートファニチャーの設置など、明るく気持ち良く、誰もが楽しく歩いて回れる「人の流れを生み出すみち」として再整備を検討していきます。
- 駅前から、小平グリーンロード(野火止用水)などの水辺へ、地区内を通り、まち歩きやまち巡りができる動線の確保をするとともに、案内表示板などの設置を検討していきます。
- 商店街と連携し、街路灯の設置やイベントの開催に向けた支援など、賑わいの創出に向けた取組みを推進していきます。

#### ■中宿通りのイメージ



## 5 まちづくりビジョンの策定経緯



※「庁内検討」とは、平成24年度以降の方向性を庁内で検討したものの

### ■平成24年度:まちづくりビジョン「提案書」作成(H25.3)

地域で暮らす方の視点から、まちの課題や改善にむけた解決策などを話し合い、市に対して提案。

#### まちづくり懇談会

主な役割 ワークショップでの意見を整理し、提案内容を確認

開催日程 全4回開催  
①H24.6.26 ②H24.10.23  
③H24.12.19 ④H25.3.19

構成委員 12名(自治会長、商店会長、企業代表、再開発準備組合理事長)

#### まちづくりワークショップ

主な役割 課題や意見を話し合いアイデアを出す

開催日程 全5回開催  
①H24.8.23 ②H24.9.19  
③H24.11.14 ④H24.12.5  
⑤H25.2.13

構成メンバー 各回20名程度(自治会、商店会、企業、再開発準備組合、福祉施設、学校、幼稚園等の代表及び市民公募)

### ■平成25年度:まちづくりビジョン策定(H26.2)

「提案書」を受けて、実現可能な取り組みを庁内で検討し、市民からの意見を収集・反映した上で策定。

#### 庁内検討委員会

開催日程 全3回開催  
①H25.6.25 ②H25.7.31  
③H25.9.11

#### パブリックコメント

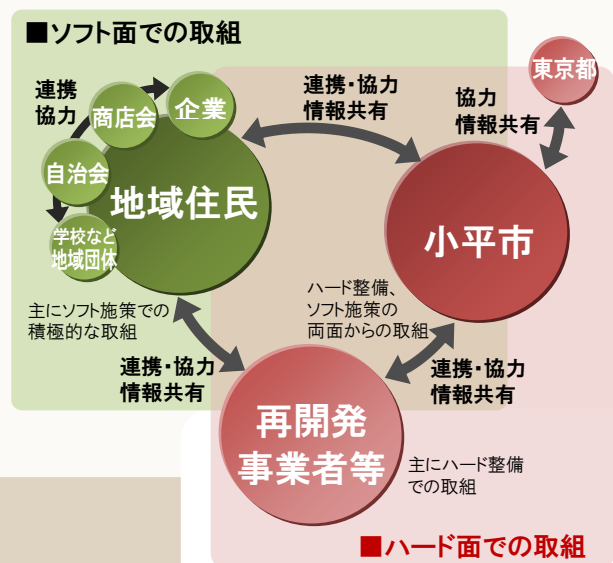
実施日程 H25.11.19 から12.18まで

#### 都市計画審議会

開催日程 H25.12.13

## 6 これからのまちづくりに向けて (それぞれの役割)

- これからのまちづくりは、地域の皆さんにも主体的に関わっていただくことが必要です。特に、公共施設などのハード整備に対しては、計画段階から情報を共有しながら進めていくこと、一方、まちの賑わいや魅力づくりに関するソフト施策に対しては、地域の皆さんが主体となり、市と連携しながら進めていくことが必要です。



小平市 都市開発部 都市開発課

〒187-8701 小平市小川町2-1333

電話：042-346-9592(直通)

ホームページ：http://www.city.kodaira.tokyo.jp/